

8番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市の鳥獣害対策について</p> <p>【質問趣旨】 近年、本市においてイノシシの市街地出没が常態化し、住宅街での目撃、花壇や農地の被害、自動車との接触事故などが発生している。現時点では人的被害は確認されていないが、生活圏での出没が続く以上、市民の安全確保を最優先とした体制強化が急務であると考えている。本市では、罠による捕獲をしているが、その担い手である猟友会の高齢化が進み将来的な捕獲力の維持が大きな課題であると考えている。</p> <p>→続く</p>	<p>(1) 市街地におけるイノシシ出没に対する市の現状認識について</p> <p>(2) イノシシへの対応について</p>	<p>① 近年、住宅街でのイノシシによる花壇の荒らしや自動車との接触事故など、市民生活に直接影響する被害が発生している状況である。これらは従来の農地被害とは異なり、市街地という生活圏で起きている問題である。現時点では人的被害は発生していないが、出没が常態化する中で、人的被害のリスクは高まっていると考える。本市として、現在の市街地におけるイノシシ出没の状況を注意喚起で対応可能な段階と考えているのか、それとも一段階上の危機管理が必要な段階と捉えているのか、被害を未然に防ぐ観点から市の見解を伺う。</p> <p>① 通学路においてイノシシの出没が常態化している地域では、子どもの安全について大きな懸念がある。通学路を変更するなどの措置が求められるが、子どもたちの安全を守るためにどのような対策をしているのか伺う。</p> <p>② 本市では罠を中心とした捕獲により、年間400頭以上の捕獲実績がある。一方でその捕獲を担っている猟友会の高齢化が進んでおり、年々増える捕獲数への対策が課題であると考えている。市として、この捕獲実績をどのように評価し、今後も同水準を維持できると考えているのか、見解を伺う。</p> <p>③ 現在の捕獲体制は、猟友会会員の献身的な努力によって成り立っている側面がある。若手捕獲従事者の確保に向けて、わな猟免許取得費用の補助をされているが、ほかにも、技術講習会の開催、初期装備の支援などが必要と考える。そのほか、具体的な支援策を検討する考えはあるのか伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>また、イノシシ対策は農林課、河川など侵入経路対策は維持管理課、その他の害獣・外来生物対策は環境課と、所管が分散しており、市街地で発生している鳥獣被害に対し、行政の体制が実態に追いついていない状況である。さらに、被害対策と同時に、保護すべき野生動植物や生態系への配慮も求められており、安全と自然保全の両立を図る調整機能の必要性が高まっている。以上を踏まえ、鳥獣害対策を市民安全の視点で再設計し、組織横断的に対応できる体制構築について、市の考えを伺う。</p>	<p>(3) 近年各地で発生しているクマ被害とその対応について</p>	<p>④ イノシシの侵入経路の一つとして、河川や谷筋、河川沿いの藪が指摘されている。しかし、河川の浚渫や草刈りは維持管理課、イノシシ被害対策は農林課と、所管が分かれており、侵入経路対策がイノシシ対策として十分に機能していない場面も見受けられる。市として、この縦割り構造を課題と認識しているのか、併せて、部所横断で優先順位をつけて対応する仕組みを構築する考えはあるのかも伺う。</p> <p>① 近年、全国各地で市街地にクマが出没し、人的被害が発生する事例が相次いでいる。クマの被害は人命に直結する危険性が高く、出没した場合には、迅速かつ的確な初動対応が求められる。本市においても、頻度は高くないものの、これまでにクマの目撃情報が寄せられている。市域内のクマの出没について本市の見解を伺う。</p> <p>② 本市として、クマが市街地や生活圏で確認された場合に、環境課が中心となり、警察・県・猟友会など関係機関と連携していくこととなると思われるが、どのように、市民への情報提供や安全確保を行う体制となっているのか具体的に伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

8番	高島 淳 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4) 環境課または防災安全課への「鳥獣害係」新設について	<p>① 近年、イノシシの出没は農地にとどまらず、通学路や住宅地、公園など、市民の生活空間に広がっており、農業被害だけでなく、市民の生命・安全に関わる問題になっている。一方、本市では、イノシシやニホンジカによる被害は農林課、クマ・ハクビシン・外来生物などは環境課が所管するなど、害獣の種類ごとに所管が分かれている。しかし、鳥獣害対策は「農業施策」ではなく「市民の生命・安全を守る施策」として捉える必要があると考える。害獣ごとに分かれている現行の所管体制について、どのように評価し、課題をどのように認識しているのか伺う。</p> <p>② これまで述べてきたとおり、市街地におけるイノシシの出没、クマなど人命に直結する危険害獣への対応、外来生物や生態系保全への配慮など、鳥獣害対策は、複数の視点を同時に調整する必要がある。現行のように所管が分かれた体制では、情報共有や初動対応、住民対応において、限界が生じるのではと考える。そこで、環境課または防災安全課の中に「鳥獣害係」を新設し、情報集約、関係課調整、住民対応を一元的に担う体制を整備することについて、市として検討する考えはあるのか、今後の方向性を伺う。</p> <p>③ 本市には、被害を及ぼす野生動物が存在する一方で、保護すべき希少な動植物や生態系も存在している。新体制を構築していくべきと考えるが、市民の安全確保と自然環境の保全をどのように両立させていくのか、市としての基本的な考え方を伺う。</p>

(3 ページ)

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。